

〔有用遺伝資源の評価・利用〕
3月上中旬まきスイートコーンの有望品種

沼尻勝人・海保富士男・木下沙也佳・遠藤拓弥
(園芸技術科)

【要 約】「ゴールドラッシュ」を対照として比較した結果、コンパクトな草姿で、雌穂のボリュームがあり、揃い良く外観的品質に優れる品種は、バイカラー系で「さきちゃん2号、グラビス」、黄色系では「ミエルコーン84、味甘ちゃんハニー」などである。

【目的】

スイートコーンは直売で人気の高い品目であるが、各種苗会社から多くの品種が販売されており生産現場では品種特性の把握が困難である。本試験では、3月上中旬まきの作型で品種特性を明らかにし、都内におけるスイートコーン有望品種の選定資料とする。

【方 法】

「みわくのコーン ゴールドラッシュ」(以下、「ゴールドラッシュ」)を対照品種とし、他11品種を供試した。栽培は畠幅70cm、通路80cm、透明マルチ(9230チドリ)を使用し、栽植密度4440株/10aで行った。播種は、200穴トレイにしたが、収穫日を同日にするため播種日を品種ごとに変えた(表1)。定植は、苗の生育に合わせ2019年3月20日または22日行った。定植後4月24日までユーラックカンキ4号でトンネル被覆した。基肥はN-P₂O-K₂Oを成分量で16-22-16kg/10a施用し、追肥はN-K₂Oを各7kg/10a施用した。すべて無除けつ無除房栽培とし、6月14日に収量調査し、同17日に生育を調査した。

【成果の概要】

1. 気象条件：3月24日に外気温-0.5°C、4月4日には同1.2°Cの低温に遭遇し(図1)，一部に葉の白化やしおれなどの低温障害がみられた。そのため、当センターより低温地域では、トンネルに不織布のべたがけなどを組み合わせるとよい。
2. 生育特性：雄穂抽出日は遅い品種もみられたが、絹糸抽出日は同等であり、本試験の播種日で、これら品種は同日収穫できると考えられた(表1)。生育で品種間差異が最も大きい項目は草丈や稈長で、晩生品種で高くなるが着穂位置は低く、収穫作業に問題はなかつたが、草丈の最大品種と最小品種の差異は39cmと大きく、耐倒伏性や病害虫管理の作業性などには影響すると考えられた。
3. 対照品種「ゴールドラッシュ」と比較した結果、収量性や外観的品質に優れる品種が数品種認められたが、バイカラー系の「さきちゃん2号、グラビス」は、特に雌穂のボリュームに優れ、比較的不稔も少なく、粒列の揃いも良く有望であった(表2)。イエロー系では、「ミエルコーン84、味甘ちゃんハニー」は、雌穂の収量や品質も優れるが、非常にコンパクトな草姿であることも評価できる。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 本試験で実施した以外の重要な項目には、在圃性、耐倒伏性、食味なども挙げられる。今後は、品種を絞り込み、引き続き調査していく。

